

ほけんだより 5月

静岡聴覚特別支援学校
保健室 文責・栗田
令和5年4月27日

ゴールデンウィークも 早寝・早起き!



始業式、入学式から3週間経ちました。学校での生活や新しい環境にもだいぶ慣れてきたと思いますが、毎日がんばっているのが疲れがでてくるときです。

29日からゴールデンウィークになりますが、お休みが続くからといって、生活リズムを大きく変えてしまうと体調を崩す原因になることがあります。基本的な生活リズムは崩さずに、感染症予防対応をしながら、元気に楽しく連休を過ごしてください。



健康診断、まだまだ続きます



4月は身体測定、視力検査、尿検査、聴力測定を行いました。

5月は、歯科検診、心音・心電図検査（中1）、貧血検査（小中の希望者）、尿検査（二次）、耳鼻科検診があります。6月は、眼科検診、内科検診です。

学校医や検査機関による健康診断が始まりますが、追加の検査ができないので、予定された日にできるだけ休まないようにお願いします。

みんなが使う場所を、みんなできれいにしよう!

今年度は、校内の衛生管理の徹底を目指し、「みんなが使う場所を、みんなできれいにしよう」を合言葉に、校内の衛生管理や美化に力を入れています。

本校では、毎日の清掃活動に加え、特別教室や廊下、トイレなどを週1回（木曜日）全校で分担して清掃をしています。ほうきや掃除機、モップなどいろいろな道具を使って清掃をしますが、清掃の方法だけでなく、「ごみの分別はできたか」「友達と協力してできたか」「石けんや消毒液の残量確認をしたか」など、みんなが使う場所をみんなで協力して清掃する姿を目指しています。清掃後に、自分たちでチェックをして、できたことは続け、できなかったことはできるようにみんなで協力していきます。

現在は、新型コロナ対策業務スタッフさんが、校内の清掃を丁寧に行ってくださっているおかげで、きれいな環境が維持できています。

教室やトイレに「掃除内容」や「チェック項目」が貼ってあるので、学校に来た時にぜひご覧ください。



みんなが使う場所を、みんなできれいにしよう!

教室のそうじ内容

- ・床(そうじ機をかける)
- ・机の上(拭く・消毒をする)
- ・黒板(消す 黒板消しをクリーナーにかける)
- ・手洗い場(スポンジでこする 消毒をする)
- ・ごみ(分別をして捨てる)

そうじ後のチェック 担当

教室がきれいになった。
机や いすを せいとんした。
ごみを 正しく 分けて 捨てた。
友達と 協力して そうじをした。
時間いっぱい そうじをした。
石けんや 消毒用品があるか 確認をした。
そうじ用具を せいとんして かたづけた。



出席停止となる感染症について



学校は集団生活をするので、感染症の広がりを防ぐために、下の一覧表に挙げた病気にかかった場合は、たとえ軽症でも登校できません。かかった場合は、学校へ報告し、医師の許可が出るまで家庭で安静に過ごしてください。その間は「出席停止」になります。

飛沫感染し、子どもがかかりやすく、学校で流行を広げる可能性が高い感染症

病名	出席停止期間	主な症状
インフルエンザ	発症した後5日を経過し、かつ解熱後2日（幼児は3日）を経過するまで	急な発熱、頭痛、腰痛、全身倦怠感、鼻づまり、くしゃみなど。
百日咳	特有の咳が消える、または5日間の抗菌性物質製剤による治療終了まで	はじめは軽い咳、のどの発赤。発病後1週間くらいからコンコンという咳が出る。
麻疹（はしか）	解熱した後3日を経過するまで	発熱、咳、鼻水、目やに。頬の内側に白い斑点。発熱後4日目より皮膚に発疹。
流行性耳下腺炎（おたふく）	耳下腺などの腫れが出た後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで	37～38℃の発熱。まず片側、次いで両側の耳下の腫れと痛みが出る人が多い。食欲不振もみられる。
風疹（3日はしか）	発疹が消失するまで	発熱、発疹、耳の後ろ、首、脇の下などが腫れる。咳や粘膜が充血する。
水痘（水ぼうそう）	すべての発疹が痂皮化するまで	水疱のある発疹が体中に次々と出る。かさぶたとなり、先に出たものから治っていく。
咽頭結膜熱（プール熱）	主要症状が消退した後2日を経過するまで	発熱、のどの痛み、結膜炎、首のリンパ節の腫れ。
結核	症状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで	初期は自覚症状なし。X線で発見されることが多い。
髄膜炎菌性髄膜炎		高熱、出血斑、関節炎など。

◎その他の感染症でも、医師の指示により出席停止になることがあります。不明な点は学校へ御連絡ください。

新型コロナウイルス感染症についての出席停止の扱い

5月8日に新型コロナウイルス感染症が「5類」へ移行されると、学校の出席停止期間も大幅に変更されます。それまでは、今までどおり発熱等の風邪症状があるときや、同居家族が未診断の発熱等の症状があるときには、自宅で休養し、可能な限り受診をして結果をお知らせください。

